

## 調布市景観アドバイザーからの講評

皆さんが発見してきた風景などの紹介を踏まえ、その中で気づいた点や、今後の中心拠点の景観まちづくりに参考となる視点について教えていただきました。



石川 初

慶應義塾大学大学院  
政策・メディア研究科教授  
調布市景観審議会委員  
調布市景観アドバイザー

- シンボルやマークを作り目立たせる（アピールする）ことは重要だが、一方で一度作るとやり直しがきかないという難しさもある。その中で、プロジェクションマッピングなどの新しい技術を活用していくのも一つの方法として考えられる。
- 広場は緑があったほうが良いと思うが、すぐに大きな樹木を持ってくるのではなく、ケヤキなど育ちやすい樹木を早めに植えて育てていくのもひとつだと思ふ。そうすると、広場と一緒に成長させていくことにも繋がる。
- 広場のシンボルというのは中心にものがあるということだけでなく、周囲の人がその場所をリスペクトしていることも重要になると考えている。調布駅は南北が分断されていた名残りが、広場周辺の建物が広場側に向けた風景になっていないと感じる。建物の正面をはじめ1階レベルの賑わい（デザイン）などを広場側に向けてくことが広場のシンボル化に繋がっていくと考えられる。その際に都市計画や景観などのルールを活用していくことが必要になると思う。また、時間がかかると思うが、大規模修繕や建替え時など活用して、徐々に進めていくことが重要になると思う。
- 京王線の地下化に伴う駅周辺の整備などを活かし、国も推進している「ウォーカブルなまちづくり」を活用して社会実験などを行い、検証していくことも面白いのではないか。  
例えば「時間によって旧甲州街道の車両交通を止めて歩行者専用」にするなど
- 景観的な視点は横断的に見ることができ、緩衝材的な役割にもなると思う。また、客観的に色々な提案をしやすい立場にあるため、今回のアイデアについても、景観の視点を活用して都市計画などにも波及できるとよいと思う。

### 令和4年度 第3回 調布市景観まちづくり市民検討会を開催しました。

今回の記事は、3月17日に開催した第3回市民検討会で、中心拠点のまちなみで「活かしていくべき風景」「新たに必要風景」について、検討会メンバーが発見した内容をまとめたものです。



調布市では、景観まちづくりについて、景観だよりでお知らせしていきます。

発行：調布市都市整備部 都市計画課 開発景観係

Tel：042-481-7442 Fax：042-481-6800 Email：tikubetu@city.chofu.lg.jp

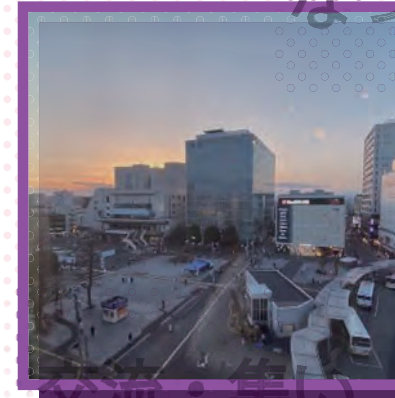
# ちょうふ景観だより

令和5年3月31日発行

第60号

なつかしさ・安心感

活かして  
いくべき  
風景



交流・乗り

中心拠点  
の  
まちなみ



わかりやすさ

憩い・癒し

新たに  
必要な  
風景



賑わい・遊び

### 中心拠点のまちなみについて考えよう

調布市の中心拠点である調布駅周辺で「活かしていくべき風景」と「新たに必要（創出したい）風景」について、市民検討会のメンバーの皆さんが発見していただきました。本号では、調査内容の一部をご紹介します。

駅まわり ①

### みんなのリビング



京王線の地下化によって、劇的に変貌したのは駅まわりの居心地の良さではないだろうか。開放的なパブリックスペースが増え、電車の音で会話もかき消されることもなく、まちの中に人々の居場所ができた。調布駅まわりの良さは、商業・業務の集積の規模がほどほどで、すぐまわりが住宅街の中で、市の中心の交通結節点でありつつも、交通に支配されずに人の居場所があるところであると思う。

駅まわり ②

### 身近な緑を残したい

放っておくと知らぬ間になくなってしまいそうな生産緑地が、いつのまにか調布市のアイデンティティにもなっている。現在は見ているだけだが、市民とのコラボ企画などでこの風景を活かすことを模索して欲しい。



検討会委員が選ぶ

## 活かして いくべき 風景

### 駅前広場の活気ある風景

駅近 ①



まちの中心の広場で、多くの市民によりイベントやマルシェが開催される活気ある風景が見られ、市民に親しまれる新たな場所・景観となっている。

### 広場内にケヤキのある風景

駅近 ②



既存樹木の活用と新たな樹木の植樹による木陰や潤いのある景観づくりが必要。今あるケヤキ等の樹木をシンボルツリーとして残し、「住み続けたい緑に包まれる調布」のシンボルとして後世にも受け継いでいく必要があると思う。

駅近 ③



### グリーンホールに向かう

駅からこれ程近くに大ホールが存在することは大変珍しい。音楽活動はじめ、映画の街を標榜することを中心とした文化の街の象徴がこのグリーンホールである。調布駅のエレベーターを上がって見えてくる、グリーンホールと外階段はまさしく「活かしていくべき風景」である。

駅まわり ③



### 市役所前の街路樹

市の顔である市役所に行く通路に街路樹が植樹されていることにより市役所に対する親近感がわき、駅前の喧騒とは異なり、心が落ち着いてくる。

### 映画の街調布のシンボル



排気筒は移動できないが、映画の街を印象づけるとともに、案内にも活用している。さらなるデザインや周辺のアート化によりさらに良くなると思います。

駅近 ④

### 駅前花壇



主要なスポーツ大会のおもてなしの一環として設置されたのが駅前花壇である。今では駅前の待ち合わせや休憩のスポット、保育園児のお散歩コース、神代植物園へ繋がる緑の散歩道の起点となっている。調布の顔である調布駅前に、駅前花壇のある風景を残して欲しい。

駅近 ⑤

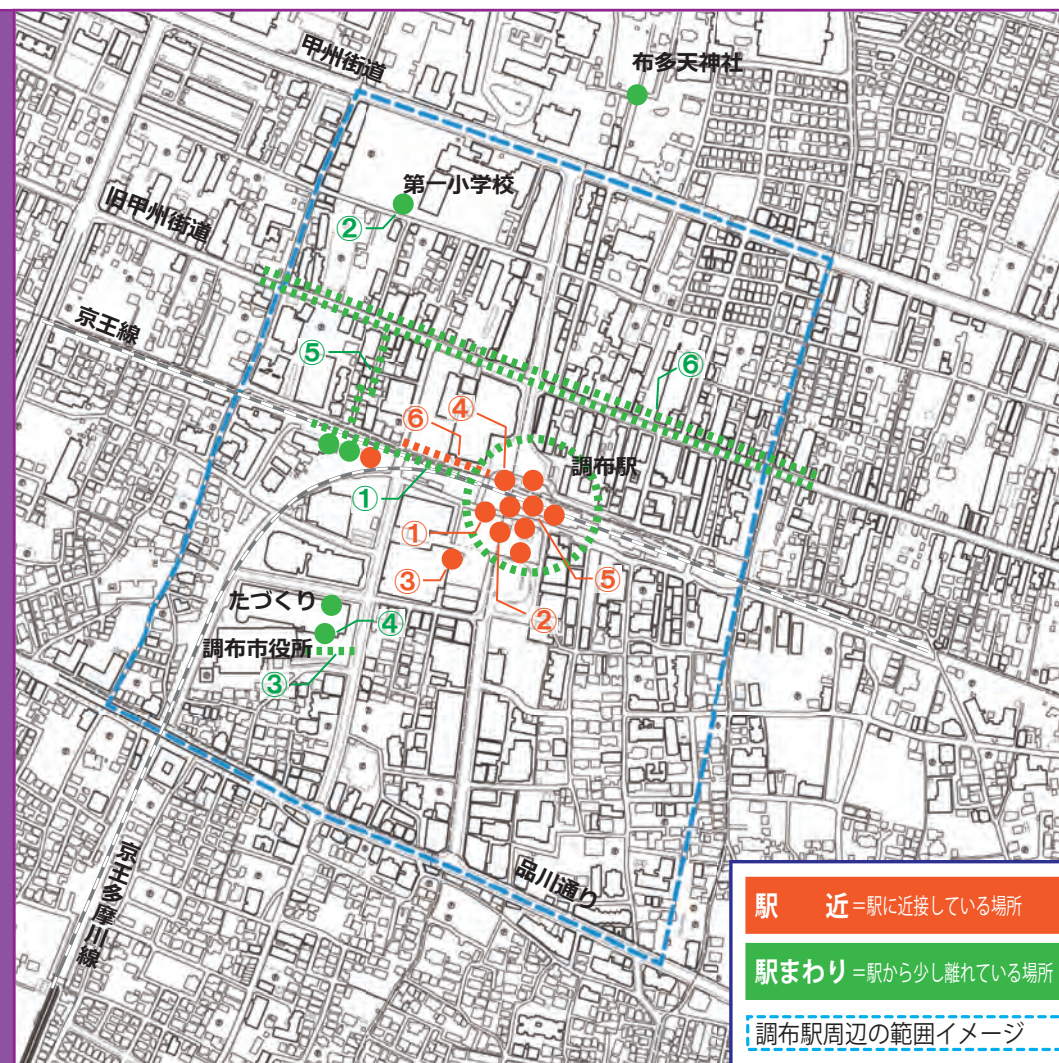
### シヴィック・センターの広場



市役所が奥まった場所に建っていて、その手前が都会的で木々に囲まれた広場になっている。階段を昇って2階へと導かれるアプローチも「ありがたみ」がある。さらに、「たづくり」という文化施設にも接し、喫茶店もあり、多くの市民が日常的に立ち寄れる場所となっている。

駅まわり ④

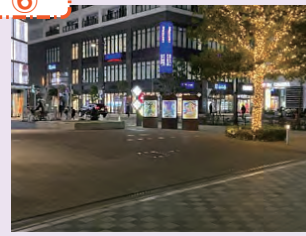
位置図・検討会委員が見出した風景（活かしていくべき風景）



駅近 = 駅に近接している場所  
駅まわり = 駅から少し離れた場所  
調布駅周辺の範囲イメージ

※位置図は検討会委員から提出されたすべてのシートをもとに作成し、その中の一部を本号でご紹介しています。

駅近 ⑥



### 華やかで洗練された夜景

トリエC館から駅前広場方面に向けて企業カラーが青系統の企業が多いからか、黒系の壁面の背景に青い看板が整然と並ぶ夜景が美しく見えた。

駅まわり ⑤

### 路地の商店街の景観

駅前の大規模な商業施設やチェーン店だけではこのまちも同じになってしまう。新宿の思い出横丁や、吉祥寺のハモニカ横丁は、人を今も惹きつけており、調布でも地元の飲食店や居酒屋が立ち並び商店街や路地裏、横丁などの景観は、今後も活かしていきたい場所である。



駅まわり ⑥

### 時代で変化する旧甲州街道

街道→宿場町→商店街、回遊軸としての道として同じ道でも目的が変化してきているなか、今後も調布駅に向かう道として残されていくことが見込まれるのを魅力と思った。



# 新たに 必要な 風景

駅まわり  
①

## 裏通りと表通りをつなぐ空間ネットワーク



表通りのビルの一階部分をピロティにし、調布銀座の路地をつなぐ通り抜け空間がある。まちの表通りから裏路裏がちらっと見え、幹線道路沿いと路地に人が流れる動線になっており、表通り側はチェーン店を中心とした街並みになりがちだが、こうした工夫を施すことで路地と表通りがネットワークされ、巡れることでまちの表情にも多様性が生まれると思う。



イメージ

## ゆとりある駅前通りの創出

調布駅に至る南北方向の駅前通りは、歩道が狭く、一部は駐輪場として利用され、魅力ある通りではないと感じる。時間はかかるかもしれないが、歩道上の駐輪場の移設や、建物のセットバックなどにより、歩きやすく、買い物がしやすく、居心地が良い街になっていくと思う。

駅近  
①

## 音に癒される駅前広場



生演奏の音楽が聞こえてくる街は文化に対する意識が高いと言えると思う。様々なイベントと共に、駅前広場に多様な音楽がBGMとして広がると、人の気持ちを和ませ高揚させる。その環境に人が集い、賑わいが創出され、調布市の顔にふさわしい駅前になると思う。

駅近  
③

## 季節で変貌する街路樹



イメージ

季節で色づく植物は、きちんと手入れすれば景観スポットになる。熱意ある地元市民の協力も必要だが、こういう場所(みち)があると良いと思う。

駅まわり  
②

## 世代を超えて憩えた駅前広場の復活

駅を降りると「ほっとする」感覚を与え、訪れた人も「緑があっという間ですね」と讃えてくれた広場が、駅前広場の整備に伴い空地となっています。共生社会に向けて掲げた「すべての子が共に遊ぶ、学べる場の公園を」の方針をもとに整備を進めている自治体もあります。駅前広場に子どもの声が響き、元気で優しい街の象徴にして欲しい。



駅近  
⑤



「渋谷駅ならハチ公前」といった待ち合わせ場所が調布駅にはない。駅前に調布らしさも感じられる「ゲゲゲの鬼太郎」のモニュメントがあったら、目印にもなり、調布駅の待ち合わせ場所の定番になると思う。

## 新たな待ち合わせ場所

駅近  
④

## 新たな賑わいの場へ



調布駅前広場が南北につながった段階で調布駅自体がすでに、昭和、平成の駅ではなく、令和の駅に変貌したことに気づいた。人が集う空間、スペース、イベント、施設など年々変わっていく調布駅周辺の変化を押さえるのではなく、市民・事業者・行政と一緒に考え、変化を楽しむ視点が必要だと思う。

駅近  
②

## 子育てがしたくなるまちへ



駅周辺には多くの子育て施設がある。駅に近い施設は便利だが、手狭なのが、園児たちが駅前広場に遊びに来ている。この日はグリーンホール前のプレイスペースで遊んだ後の帰り道の風景が見られた。誰もが安心(ほっと)していただける場所を、駅まわりに用意ができれば良いと思う。

駅近  
⑥

## 花壇等のある歩行者専用道路

地下化された鉄道敷地を活用して、歩行者通路(緑道)を設け、ところどころに花壇等のガーデニングを行い、必要に応じて、モニュメントやファニチャーを設置する。行きかう人々の心を明るく希望に満ちた生活が送れるような「みち」にする。



イメージ

駅まわり  
③

駅まわり  
④

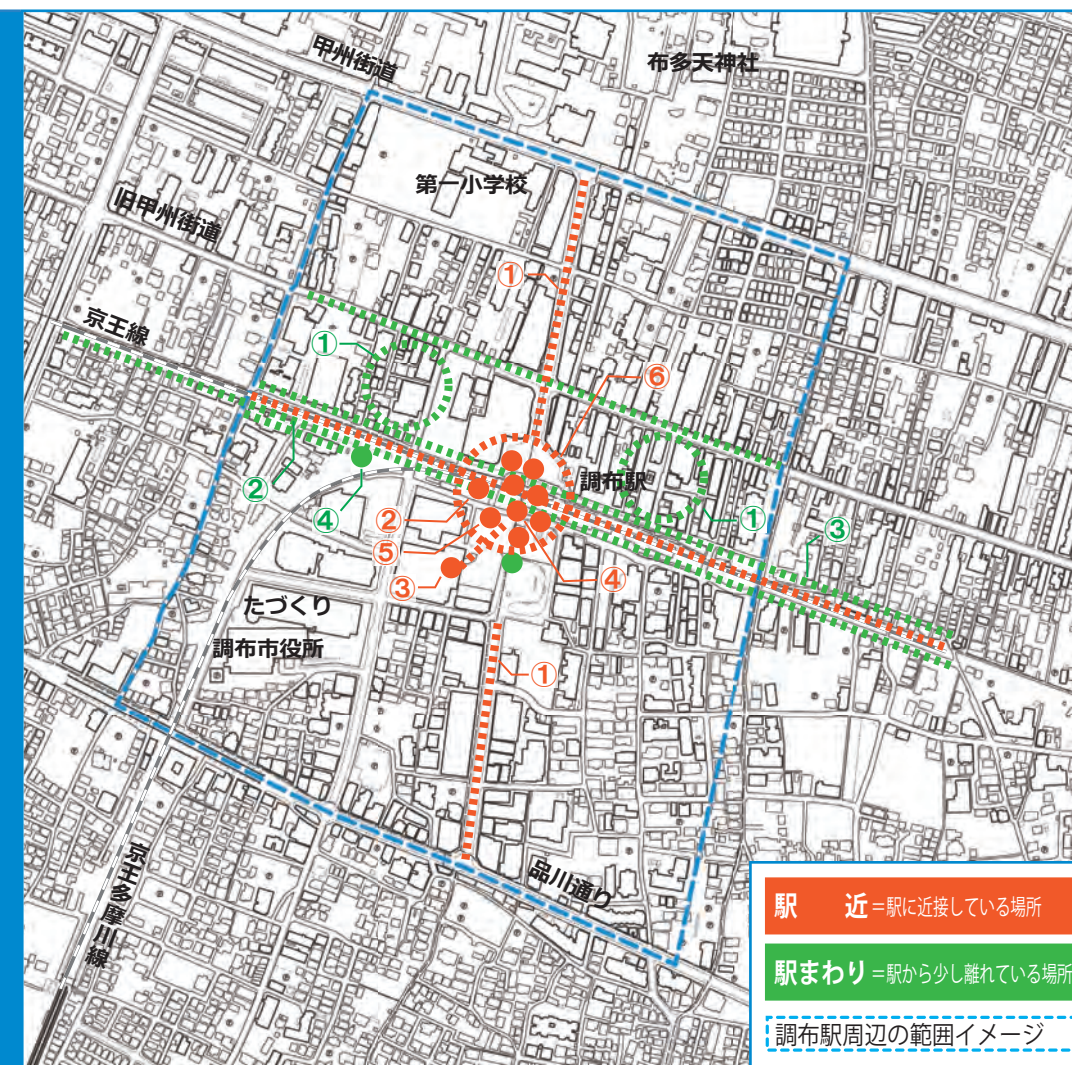
## 「夕日眺台」(ゆうひちょうだい)の設置



イメージ

夕日を眺望できるデッキを設置して調布の新たな名所を創出。階段はデッキ幅と同じにし、蹴上や踏面はゆったり取り子どもたちの遊び場兼ベンチにする。自転車駐車場の上に設置することにより屋根となり、イベント利用も可能なスペースとなる。

位置図・検討会委員が発見した風景(新たに必要風景)



駅近 = 駅に近接している場所

駅まわり = 駅から少し離れた場所

調布駅周辺の範囲イメージ

※位置図は検討会委員から提出されたすべてのシートをもとに作成し、その中の一部を本号でご紹介しています。

## 「中心拠点のまちなみ」の景観まちづくりに今後必要なこと・・・

検討会メンバーの皆さんが発見してきた内容を紹介し、その後の意見交換のなかで気づいた点やあらたな視点などをご紹介します。



旧甲州街道に宿場（布田五宿）としての名残りが一部でも良いのであると面白いと思った。西調布の方に道標もある。

この検討会で市民から色々な意見が出ているが、これらをどのように生かしているのかを目に見えるようにしてほしいと思う。市民の活動が生きたものになるようにしてほしい。



府中駅のけやき並木通りのように、調布駅を中心に布多天神社から多摩川までを結ぶ南北の通りが整備されると良いと思った。散策路にも利用できると思う。

駅前も随分と変化をしてきたが、京王線の地下化を契機に20年先、30年先を見越して良いものができるとうと思った。



市外からの利用者も多いグリーンホールを活かし、調布駅地上部の出口からグリーンホールの外階段まで、アカデミー賞会場のレッドカーペットのような舗装にするのも面白いと思った。

## 皆さんが発見した風景を分類別（もの・行動）に整理しました。

検討会メンバーの皆さんに、「中心拠点のまちなみ」の課題で発見していただいた「活かしていくべき風景」・「新たに必要（創出したい）風景」



の提出シート（左図）の内容をもとに、風景を見るうえで必要な  
**《もの》《行動》**  
の2つの視点で分類し、傾向を整理しました。

※分類の詳細は右図参照  
※各分類の整理については7頁参照

### 分類別

#### 《もの》 (実際にあるもの)

広場  
ストリート  
(みち・商店街など)  
施設  
(建物など)  
モニュメント  
自然・みどり

#### 《行動》 (人の動きなど)

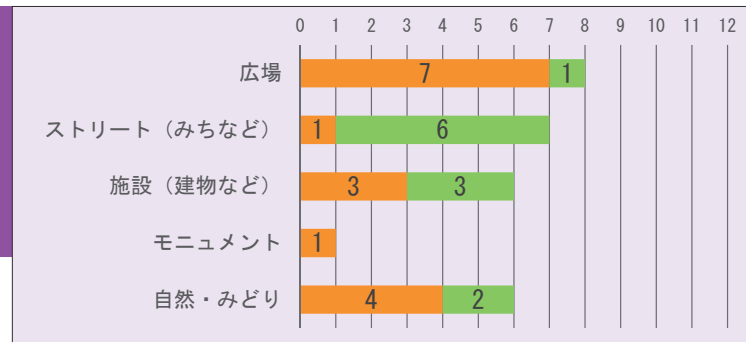
交流・集い  
憩い・癒し  
賑わい・遊び  
わかりやすさ  
なつかしさ・安心感

### 分類別 《もの》

- ・調布駅周辺に存在する「もの」の特徴から、「広場」、「ストリート」、「施設」、「自然・みどり」への関心が高くなっている。
- ・調布駅周辺ではモニュメント的な要素が強いものが少ないからか、特に「新たに必要風景」では「モニュメント」への期待が多くなっている。

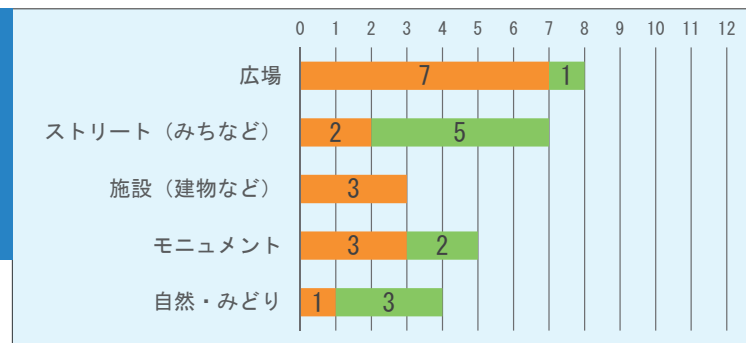
#### 活かしていくべき風景

【提出件数】  
駅近：13件  
駅まわり：11件  
計：24件



#### 新たに必要風景

【提出件数】  
駅近：15件  
駅まわり：8件  
計：23件



※提出シート1件に対して複数の分類に該当するケースがあるため、グラフ内の数値計と提出件数があわない場合があります。

### 分類別 《行動》

- ・「賑わい・遊び」については新たに必要風景への期待、現状での関心が高い「交流・集い」についてはさらなる期待が寄せられています。
- ・これまでの調布らしさにつながる「なつかしさ・安心感」は、今後も継続してあるべき風景としての声が多くなっています。

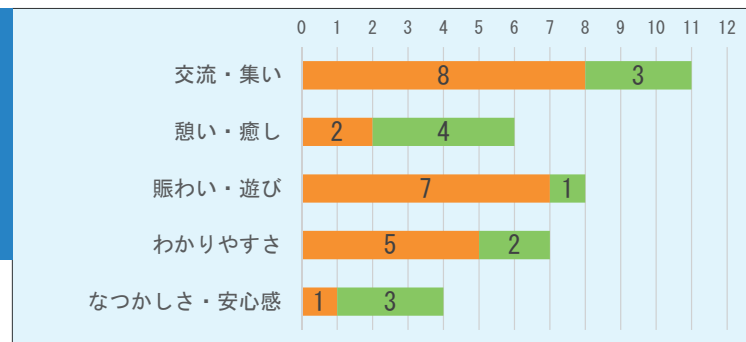
#### 活かしていくべき風景

【提出件数】  
駅近：13件  
駅まわり：11件  
計：24件



#### 新たに必要風景

【提出件数】  
駅近：15件  
駅まわり：8件  
計：23件



※提出シート1件に対して複数の分類に該当するケースがあるため、グラフ内の数値計と提出件数があわない場合があります。